

Purpose

SSH研究開発事業の目的

「探究基礎」から「科学の担い手」を育成するため
 継続的・発展的な大学・研究機関との連携のあり方と
 将来を展望した理数系教育の環境と指導法に関する研究開発



伊吹山頂上にて大接近中の火星と記念撮影。
 生徒が自然への理解を深めることを目的としたフィールドワーク「伊吹山夜間登山」(2003. 8. 22-23)における天体観望。この他にも高山植物の観察・地質の解説が行われた。「何故、塩酸でとけない石と、とける石はあるのか(参加生徒・事後アンケート・不思議に思ったこと)」

堀川高校では、京都市立高等学校改革のパイロット校としての位置付けのもと、わが国の科学・文化の新たな担い手の育成を目指す新しいタイプの専門学科「人間探究科」「自然探究科」を新設しました(平成11年)。

理数系統の学習を深め、自然の現象や原理・法則等の探究能力と態度を養う専門学科である「自然探究科」では、従来の普通科理系における学習内容を数学・理科を中心に高度化・深化させ、多彩な学習内容と学習形態及び学習方法を設定してきました。

そこで、本校では、専門科目「探究基礎」をベースとして、生徒一人一人の進路目標や将来展望をふまえた探究活動のあり方について研究し、より一層充実した理数系教育の環境と指導法について追求するため、スーパーサイエンスハイスクール研究開発課題を上記の通り設定しました。

Overview

研究開発内容の概要

